

平成27年1月23日

大町市長 牛 越 徹 様

大町市総合計画審議会
会長 坂 中 正 男

大町市第4次総合計画後期基本計画の進行管理について（答申）

平成26年11月4日付で諮問を受けました大町市第4次総合計画後期基本計画の進行管理を行うため、重点プロジェクトに掲げた施策を中心に12施策を抽出し、市が実施した内部評価に基づき、本審議会による評価（外部評価）を実施した結果について、別添のとおり取りまとめましたので答申します。

今後、本審議会で取りまとめた意見について、基本構想に定める将来像「美しく豊かな自然 文化の風薫る きらり輝くおおまち」の実現のため、予算編成並びに今後策定が予定されている第5次総合計画に反映いただくとともに、現在実施している施策や事務事業の効率性の向上、実施手法の改善など質の高い行政サービスの提供に向け最善の努力をされるよう要望します。

1. 経緯

大町市総合計画審議会（以下「審議会」という。）は、平成26年11月4日付けで市から諮問を受けた「大町市第4次総合計画後期基本計画」の進行管理について、4回にわたり審議会を開催し審議を行った。

2. 委員構成

会 長	坂中 正男	大町商工会議所
副会長	岑村 修司	識見を有する者
委 員	傘木 和子	大北医師会
委 員	北原 和好	大町市社会福祉協議会
委 員	藤井 一男	大町市教育委員会
委 員	丸山 隆士	大町市連合自治会
委 員	降旗 隆男	大北農業協同組合
委 員	内田 幹二	大町市観光協会
委 員	三崎美代子	大町市女性団体連絡協議会
委 員	傘木真千子	大町青年会議所
委 員	山本 史	大北地区労働者福祉協議会
委 員	大日方三郎	公募委員
委 員	平林 操	公募委員
委 員	前川 浩一	公募委員

3. 審議経過

平成26年

11月 4日	第1回審議会	
	第4次総合計画後期基本計画	行政評価
11月28日	第2回審議会	
	第4次総合計画後期基本計画	行政評価
12月19日	第3回審議会	
	第4次総合計画後期基本計画	行政評価

平成27年

1月15日	第4回審議会	
	答申案の検討	
1月23日	答 申	

4. 審議会における意見

第1章 市民に、より身近な市政のまち

施策目標1 市民とともにつくるまちづくりの推進

- ・きらり輝く協働のまちづくり事業による助成を受けた団体に対し、その後の活動状況などを把握し、団体に対するサポートの継続に努めていただきたい。また、長期にわたる事業の実施によって様々な課題等も明らかになってきており、同事業の審査会委員との意見交換等も行いながら制度の再検討を行うことにより、事業のいっそうの充実を図られたい。

施策目標5 一人ひとりが平等で尊重される社会の形成

- ・企業における障がい者雇用に対する知識や認識が不足していることから、サポート体制や支援制度についての周知啓発の強化に努めていただきたい。
- ・障がい者雇用に伴う施設改修費等に対する支援策が可能か、検討いただきたい。
- ・市内各地区で実施している「人権を考える市民の集い」においては、大勢の市民の参加により、人権意識の高揚や啓発が図れるよう周知方法や開催方法を検討し、改善を図られたい。

第2章 活力あふれる豊かなまち

施策目標4 地域の特性を生かした林業・水産業の振興

- ・林業が魅力あるものとなるよう、グリーンツーリズムとの連携など新しい付加価値を加えたビジネスモデルの構築を目指すことにより、担い手の確保が行える有効な施策を検討されたい。
- ・特産魚種のふ化、放流事業については、漁業協同組合との連携を強化し、外来魚の駆除に努めるとともに、販路拡大など淡水魚の普及促進に努められたい。

施策目標5 活力ある工業の育成

- ・企業誘致において最も重要なのは行政の熱意と知恵であり、それを生み出す体制づくりについて検討されるとともに、企業進出が成功した地域との比較研究を行い、選定理由を究明することで今後の誘致に生かしていただきたい。

施策目標6 にぎわいと個性あふれる商業の展開

- ・個性ある商店街形成への支援について、支援を行う上で街の統一感やバランスについて行政が指導を行う必要がある。「山岳都市 大町」をアピールできるようなまちづくりに向けた具体的施策について検討されたい。
- ・中心市街地の活性化については、地域の核となる人材の育成を図るとともに、関係機関が一体となって取組むような体制づくりを検討されたい。

第3章 安心・安全なまち

施策目標3 安心・信頼される地域医療の推進

- ・病院における奨学金制度について、研修期間中に高度医療病院への研修派遣が可能であるなど、長期間勤務していただくような魅力ある病院づくりに向けた対策を検討し、医師確保に努めていただきたい。
- ・病院と開業医との連携強化による地域医療の一体的な取組みの推進について検討いただきたい。
- ・医師、看護師共に患者の立場に立った対応をしていただいていると感じている。今後も病院一体となって、よりいっそうの対応をお願いしたい。

施策目標 4 少子社会に対応した子育て支援・児童福祉の充実

- ・幼稚園や保育園と、小学校との連携について、今後も連携を強化する必要がある現状等を理解され、相談員体制の充実強化などの対応について検討されたい。
- ・出産祝金制度について、お子さんが生まれたことを市としてお祝いするイベントなど新しい試みについて検討されたい。
- ・子育て支援体制の充実が、地域の人口確保へ大きな影響を与えるため、定住促進との連携の強化を図られたい。

第4章 快適な生活基盤のあるまち

施策目標 3 高度情報化社会への対応

- ・ホームページやケーブルテレビ、広報おおまちなどの情報発信手段については、その役割を一度整理し、それぞれの利点を最大限に活用した戦略的な情報発信に努めていただきたい。
- ・ケーブルテレビ加入世帯数が数値目標とかい離しているため、ケーブルテレビの付加価値を高めるための方策について検討いただくとともに、そのメリットを積極的にPRして加入促進に取り組まれたい。
- ・地震等災害発生時における迅速な情報伝達や情報共有のツールとして、ホームページやケーブルテレビの効果的な活用と連携について検討いただきたい。

施策目標 4 コンパクトで、にぎわいのある中心市街地の形成

- ・中心市街地の賑わいを創出するために、観光客を市街地へ取り込めるような具体的施策について検討されたい。
- ・商工会議所において商店街を対象とした空き店舗等に係る調査を実施していることから、改修に伴う助成などの支援策について検討されたい。

施策目標 6 利便性の高い広域交通の整備促進

- ・地域高規格道路について、長野県によりルート決定がされてから具体的な課題等について検討を行っている場合は整備の進捗に影響を与えると考えられるため、早い段階からの対応に心掛けられたい。
- ・市民バス「ふれあい号」の利便性向上を図るために、利用状況等についてのアンケートなどを実施し、利用者の要望に沿った改善に努められたい。

第5章 潤いのあるまち

施策目標 1 山岳文化都市の形成

- ・「山岳文化」という言葉を抽象的なものとさせないため、山岳博物館のみでなく他課との連携を強化し施策を推進されたい。
- ・現在調査されている鹿島槍ヶ岳の氷河については、重要な観光資源となり財産であるため、積極的な情報発信に努めていただきたい。

施策目標 6 水資源の保全と活用

- ・都市部では、この地域において住民が主体的に実施している河川や森林などの環境整備活動の存在を知らないため、都市部に対するPR活動として積極的に取り組まれたい。
- ・温泉や水など大町市の資源を有効活用する方法について、積極的な検討をされたい。

5. まとめ

市長から諮問を受けた「第4次総合計画後期基本計画」の進行管理について、計画に搭載された51項目の施策目標から重点プロジェクトに掲げられた施策を中心に12施策を抽出し、市から提出された内部評価票を基に、平成26年11月4日から計4回にわたり外部評価を実施し、審議会の意見として取りまとめました。

審議会における意見、提言を市の施策や事務事業の改善、予算編成等に活用いただくことにより、市民の視点に立った質の高い行政サービスのいっそうの充実が図られるよう期待します。